

保護者・地域等学校関係者の皆様への教育長メッセージ ④ 名物先生、さようなら

給食が通常に戻りました。7月6日は「鯖の醤油粕焼き・ひじきの炒め煮・豚汁」、7月7日は「星形コロケ・三食和え・天の川汁・七夕ゼリー」と子どもたちが毎日楽しみにしている給食となりました。或る小学校では全校で体育館に七夕飾りを取り付け、コロナウイルス終息を心より願ったそうです。また或る中学校では部活動の仮入部が始まったと伝えられています。このような各学校に関する情報は、各学校が更新しているホームページから分かります。どの学校も頻繁にホームページで情報を発信していますので、一度ご覧いただき、それぞれの学校記事の愛読者になっていただけると幸いです。

学校ではこれまでの新型コロナウイルス感染症対策に加え、夏の授業日のための熱中症対策を考えています。今年は各学校に置き勉（教科書・副読本・教材など）の検討をお願いしました。また登下校時の雨傘の利用、昇降口へのミストの設置、ランドセル・学生カバン以外の活用、ネッククーラー（首筋の冷却）の着用、中学校では自転車登校の緩和など、学校が子どもたちの状況を検討した上で、それぞれの学校でできることを進めていただくつもりです。学校の身の丈にあった熱中症対策が十分行われます。

7月1日、中日新聞の尾張版に「楽しい星案内20年に幕」という記事が載りました。津島市の児童科学館でプラネタリウムの解説を続けて下さった「ひげ先生」の記事です。ひげ先生は障害児学級の担任を長く勤められました。元気のよい中学生を柔道や相撲に導き、東海大会に出場させる熱血教師でした。当時相撲部の顧問をしていた私は、2年連続でひげ先生のチームに破れ、子どもたちと涙を流しました。ひげ先生のプラネタリウムの解説は名調子で、小学生の子どもたちと一緒にいくと、知らぬ間に私も星座の話の中に登場していました。いつもユーモアたっぷりの解説でした。日本独特の星座の名前や星座にまつわる物語も教えていただきました。最近、年末にチャリティーの餅つき会場でお会いし、お声を掛けたり、掛けていただくことが楽しみになっていました。このたび高齢となったことを理由に、20年間のプラネタリウムの主（ぬし）を引退されます。後進に道を譲られました。正に名物先生。ひげ先生、本当にありがとうございました。どうかいつまでもお元気で。これからも津島の子どもたちのことをずっと心配して下さいね。

噛むほどに甘き香りやミニトマト

令和2年7月14日
津島市教育委員会
教育長 浅井厚視